

第2章 計画の目標

2-1. 温室効果ガス削減目標

本計画で施策の対象とする6種類の温室効果ガスのうち、排出量の大部分を二酸化炭素が占めるため、削減目標の設定対象とするガスは二酸化炭素のみとします。

また、温暖化防止対策の目標として、最も新しい実績である平成24年度（2012年度）の実績を用いて分析・評価し、現在の情勢に応じた将来推計と追加的対策による二酸化炭素の削減効果の試算より、二酸化炭素排出量の削減目標を下記のとおり設定します。

本計画の目標は、後期計画期間の5カ年の間に、市民、事業者及び市が連携・協働し、最大限の努力を図る高い目標と言え、国や東京都の目標達成へも大きく寄与することとなるものです。

2-1-1 目標削減率

《二酸化炭素排出量の削減目標》

市全域から排出される二酸化炭素の総排出量を、目標年次の平成32年度（2020年度）までに、平成2年度（1990年度）比で7%以上削減します。

【この削減目標は、国の基準年度である平成17年（2005年）比で示すと16%に相当し、国の3.8%削減よりも高い目標となります】

【また、東京都の基準年度である平成12年（2000年）比で示すと8%に相当し、東京都の削減目標と同水準となります】

2-1-2 目標排出量

前項の市の二酸化炭素排出量の削減目標について、計画最終年度の平成32年度（2020年度）における二酸化炭素排出量の目標排出量は次のとおりです。

《二酸化炭素排出量の目標排出量》

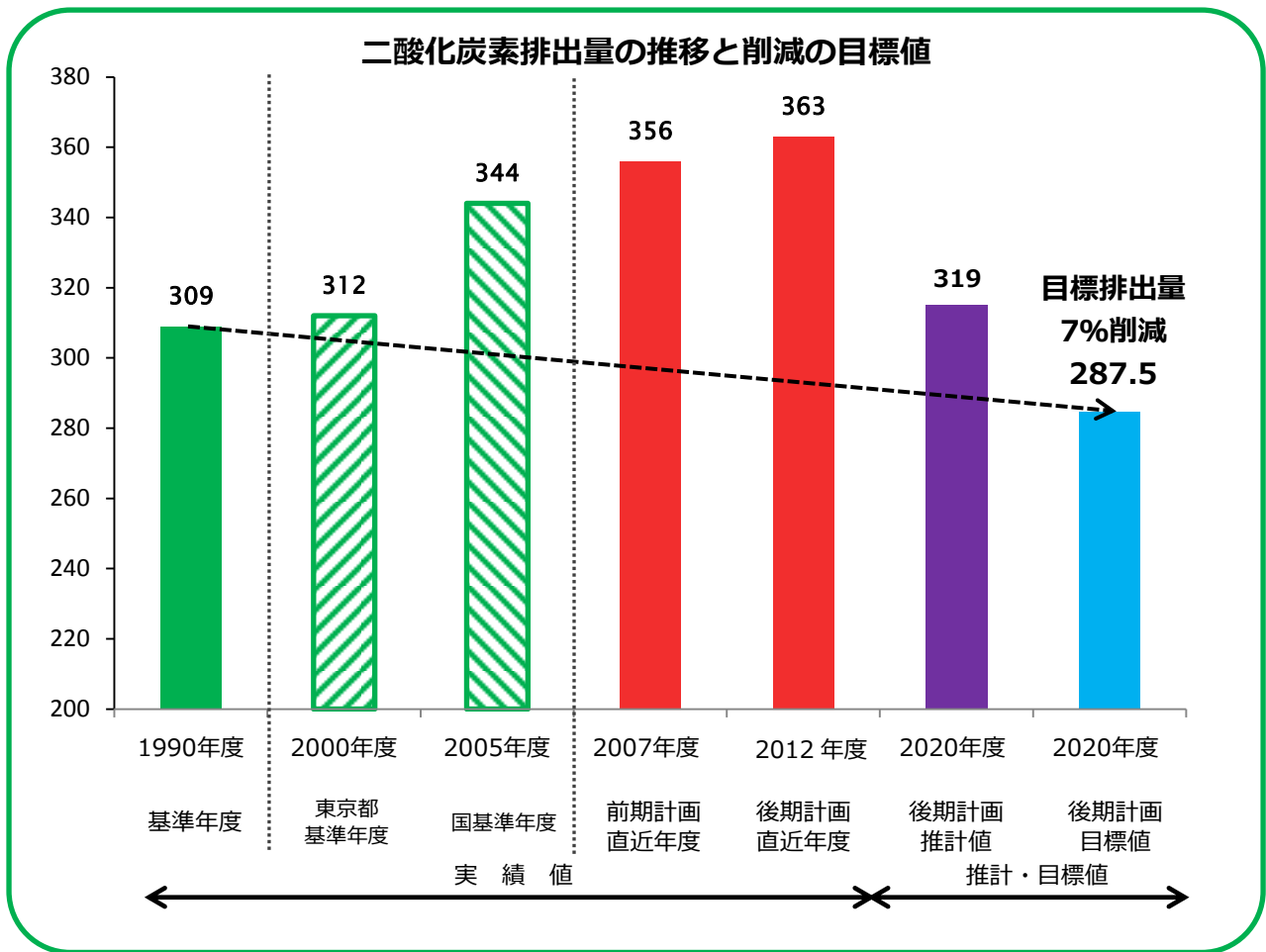
市全域からの二酸化炭素の年間総排出量について、目標年次の平成32年度（2020年度）までに、287.5kt-CO₂まで抑制します。

《二酸化炭素排出量実績値》

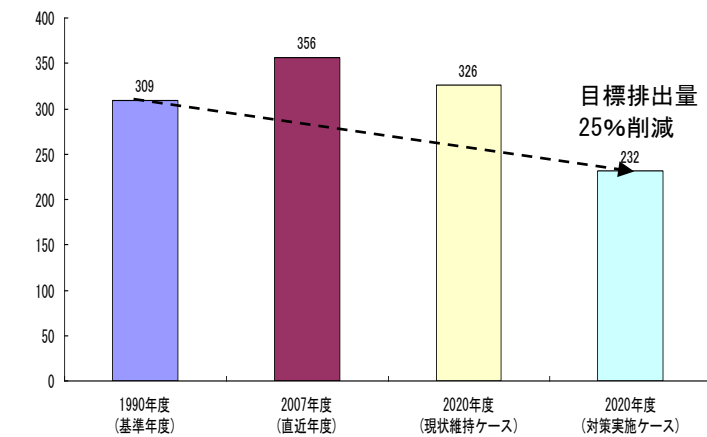
平成2年度（1990年度）	309kt-CO ₂	【本計画の基準年度】
平成17年度（2005年度）	344kt-CO ₂	【国の基準年度】
平成24年度（2012年度）	363kt-CO ₂	【直近実績年度】

（前期計画の目標排出量：232kt-CO₂）

基準年度の平成 2 年度（1990 年度）における二酸化炭素排出量、計画最終年度の平成 32 年度（2020 年度）における現状の情勢に応じた将来推計の排出量（下図の後期計画推計値）及び目標排出量（下図の後期計画目標値）について示すと下図のとおりです。



(kt-CO2) 前期計画の二酸化炭素排出量の推移と削減の目標（参考）



国の中期目標

- 国の温室効果ガス排出量を平成 32 年（2020 年）までに、平成 2 年（1990 年）比で 25%削減

現在の情勢に応じた将来推計とは、エネルギー消費量及び二酸化炭素排出量の削減対策について、現在以上の追加的対策をせず、現在のエネルギー消費及び二酸化炭素排出係数の動向のみによる基本的（ベースライン）な推計のことをいいます。